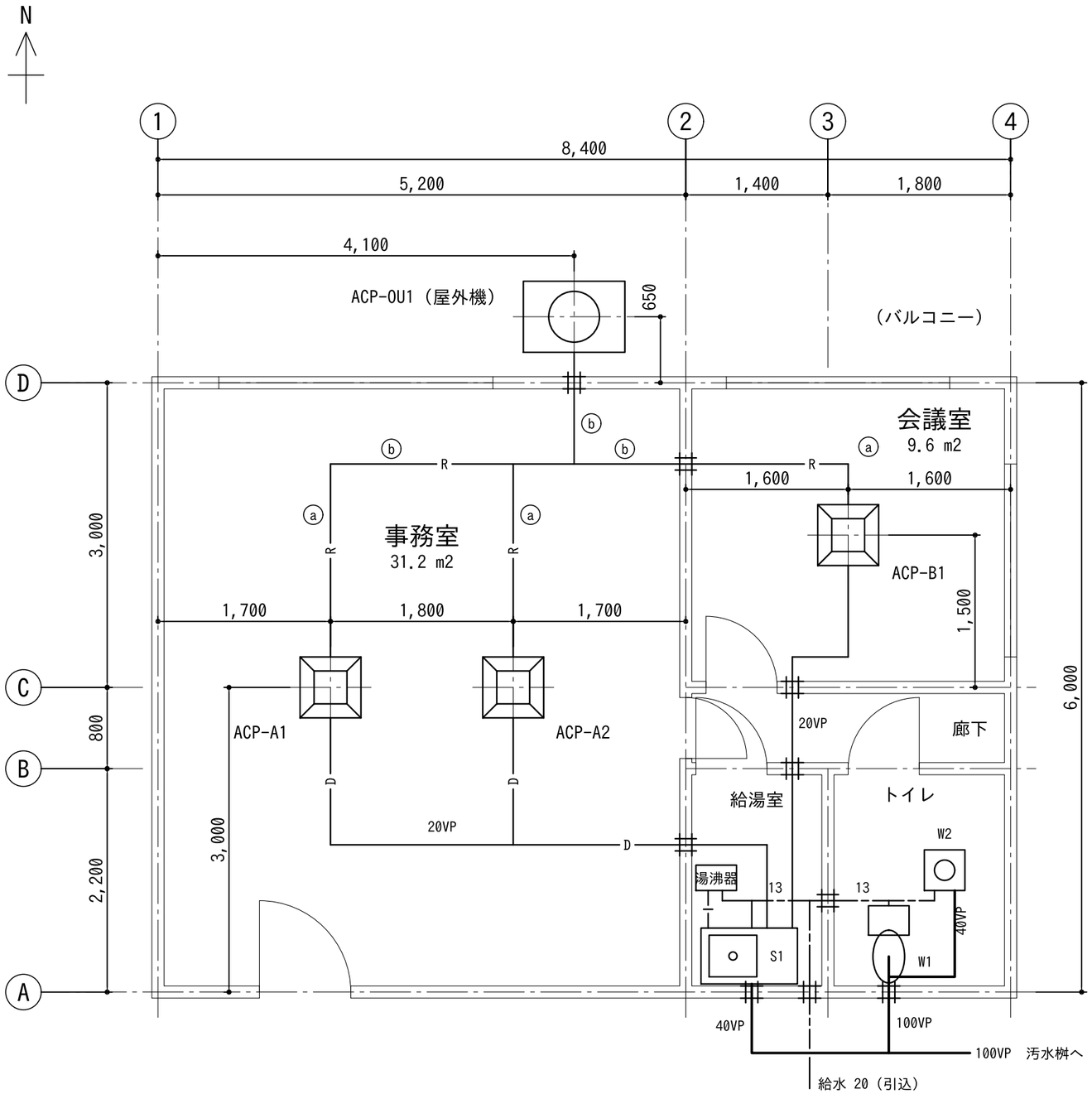


凡例

——R——	冷媒管（液管・ガス管の一対）
——D——	ドレン管
——– –——	給水管（上水）
——I——	給湯管
━━━━	排水管
——#——	スリーブ（壁・床の貫通部）
ⓐ	冷媒管の太さの記号（M-02 冷媒管一覧表）
▣	※ パッケージ形空気調和機 屋内機（天井カセット形）
◯	※ 同 屋外機
▭	※ 衛生器具（S1 流し、W1 大便器、W2 手洗器）
——·——	通り芯、機器の芯

配管の記号とスリーブは 公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）令和7年版 による。
※印は標準図に定めのない記号で、本凡例で定める。
管の太さは呼び径（mm）、VP は塩ビ管を示す。

特記

1. 寸法・機器・管径は想定値とし、建築図・現地の実測・負荷計算により確定する。
2. 屋内機は天井カセット形（形式記号 CK-4）とし、梁・照明との取り合いは天井伏図で確認する。
3. 冷媒管・ドレン管・給水管・排水管の壁貫通部はスリーブとする。
4. ドレン管は 勾配 1/100 以上とし、給湯室の流しの排水へ間接排水とする。
5. 給水の引込・排水の接続位置は既設を前提とする。衛生器具の位置は建築図による。
6. 機器・器具の仕様と冷媒管の太さ、系統図は M-02 による。

空調・給排水衛生設備 平面図 1/50

作成		照査		承認	
0	2026-11-27	初版			
記号	年月日	改訂内容			担当

（設計者等表示欄）
作成　ZAZOU 設計Works
日付　2026-11-27
提案例（実在の建物・会社とは関係ありません）

工事名称	テナント事務所　設備工事			図面番号
図面名称	空調・給排水衛生設備 平面図	縮尺	1/50	M-01
担当部局名	ZAZOU 設計Works（提案例）			1/2

機器表

記号	名称	形式	冷房能力(kW)	電源	台数	設置場所	備考
ACP-A1	パッケージ形空気調和機 屋内機	CK-4	2.8	単相200V	1	事務室	冷媒管 a・ドレン管 20VP
ACP-A2	同上	CK-4	2.8	単相200V	1	事務室	同上
ACP-B1	同上	CK-4	2.8	単相200V	1	会議室	同上。ドレンは廊下の天井内を経由
ACP-OU1	同 屋外機（マルチ、屋内機3台接続）	ー	8.4 以上	三相200V	1	バルコニー	据付・防振・冷媒管の長さを確認

注）形式は 公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）の形式記号（CK-4＝カセット形 4方向吹出形）。能力・電源は想定値。

器具表

記号	名称	数量	設置場所	備考
S1	流し	1	給湯室	給水 13・排水 40VP・湯沸器からの給湯
W1	大便器	1	トイレ	給水 13・排水 100VP
W2	手洗器	1	トイレ	給水 13・排水 40VP

冷媒管一覧表

記号	液管	ガス管	区間
a	φ6.35	φ12.7	分岐から屋内機まで（屋内機 1台分）
b	φ9.52	φ15.88	屋外機から各分岐まで（主管）

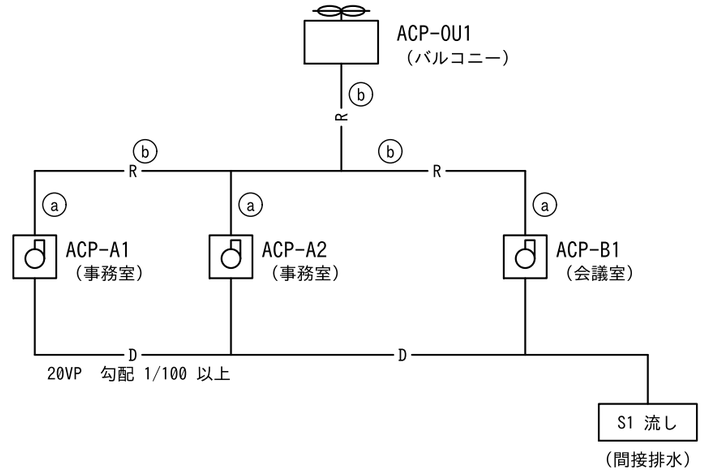
注）冷媒管の太さは想定値。機器の確定後、製造者の据付の条件で確かめる。

概算の冷房負荷（検討用）

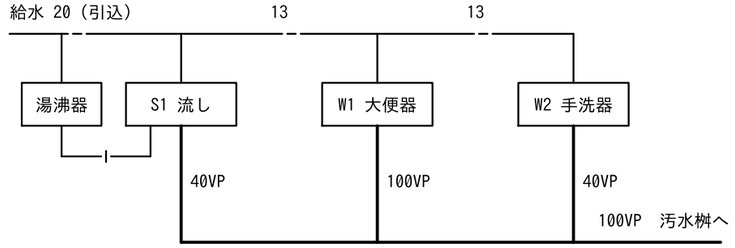
室名	床面積	想定の単位負荷	概算負荷	選定	判定
事務室	31.2 m2	150 W/m2	4.7 kW	A1＋A2＝5.6 kW	足りる
会議室	9.6 m2	200 W/m2	1.9 kW	B1＝2.8 kW	足りる
合計			6.6 kW	OU1＝8.4 kW 以上	同時使用を見込んで確認

注）単位負荷は事務所・会議室の目安の想定値。方位・窓・人員・OA機器・外気量による負荷計算で機器を確定する。
注）本図は設備の配置と配管ルートの提案例。法令・条例・省エネ基準への適合は、図面の確定時に確認する。

空調配管系統図



給排水系統図



注）系統図の機器は標準図（機械設備工事編）の系統図用の略図。
配管の記号は M-01 の凡例による。

作成		照査		承認	
0	2026-11-27	初版			
記号	年月日	改訂内容		担当	

（設計者等表示欄）
作成 ZAZOU 設計Works
日付 2026-11-27
提案例（実在の建物・会社とは関係ありません）

工事名称	テナント事務所 設備工事		
図面名称	機器表・器具表・系統図	縮尺	ー
担当部局名	ZAZOU 設計Works（提案例）		

図面番号 M-02
2/2